□□□□□　NEWS　□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

山梨県立科学館プラネタリウムをリニューアル

全国初のプレアデスシステム

山梨県立科学館（甲府市愛宕町 358－1、館長： 武川則幸） のスペースシアターが全面リニューアルされることになり、全国で第一号となるプレアデスシステムが導入されることになりました。リニューアルオープンは、3 月 20 日の予定です。

＜概　要＞

山梨県立科学館は、平成 10 年 7 月に開館し、今年で 11 周年を迎えました。その間、スペースシアターでは天文スタッフオリジナルによるプラネタリウムの番組を制作しつづけてきましたが、その番組投影を担うシステム（スライドプロジェクターや CRV ビデオ、３管式プロジェクター）がほぼ製造中止となり、修理部品なども残りわずかという状況がおきていました。リニューアルにむけてのスペースシアターの今後の動きは以下の通りです。

12 月 19 日～27 日　ありがとう！　ヘリオス

　＊現在のシステムと見に来てくださった方々への感謝をこめたイベント。詳細は HP で

１月 4 日～3 月 19 日　工事のためスペースシアター休館

３月 20 日　リニューアルオープン

＜新プラネタリウム　プレアデスシステム＞

スペースシアター更新内容は以下の通りです。

a. プラネタリウム本体（光学式プラネタリウム）　MEGASTARⅡA

b. デジタルプラネタリウムおよび全天映像システム

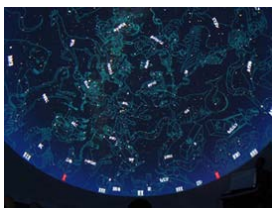
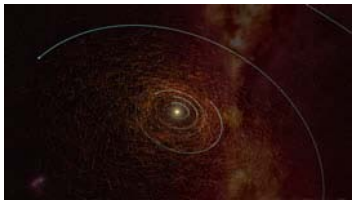
StellaDomePro,　Uniview, Quadratura

c. 音響システム

これらのシステム全体を、

プレアデスグループ（代表：　財団法人日本科学技術振興財団）が担っています。

プレアデスグループの詳細は、http://pleiades.jsf.or.jp/

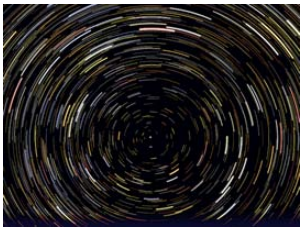
平成 21 年 12 月 18 日　**山梨県立科学館**

＜新システムの特徴＞

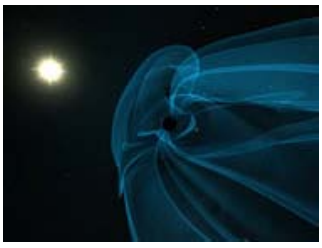
・どこまでも**リアルで美しい星空**を映し出す「MEGASTARⅡA」
小学生のころから一人でプラネタリウムを作り続け、数百万個以上の星を映し出すプラネタリウムを開発し、各界で活躍中の大平貴之氏のプラネタリウム。天の川もすべて一つひとつの星で表現されるようになります。MEGASTARⅡA－○○の「○○」に入る新プラネタリウムの名称を、**みなさんから広く公募**します。

・光学式プラネタリウムとデジタルプラネタリウムの**連動**
デジタルプラネタリウム（ビデオプロジェクターと PC から送出する星空）は、日進月歩の進化を遂げています。ですが、星の美しさは、光学プラネタリウムにはかないません。一方、デジタルプラネタリウムでしかできないことも多々あり、それらを正確に連動させることで、双方のメリットを活かすシステムとなっています。

・**国産**デジタルプラネタリウム
日本で最も多く使われている天文シミュレーションソフト、ステラナビゲーターがドームに映し出されるものになりました。
これまでのプラネタリウムではできなかった、全天の星座を一度に出して動かしたり、月の位相をわかりやすく表現したり、星の動きの軌跡を残すなど、天文学習にもさまざまな活かし方が可能です。



・**137 億後年彼方**までの宇宙空間を正確に描くスペースエンジン
NASA／アメリカ自然史博物館監修による宇宙データベース Digital Universe を備え、地球から宇宙の果てまでを最新の CG 技術で表現しています。
操作性に優れており、マウスひとつで、宇宙空間の好きな場所へ飛んでいくことができ、地球周辺のさまざまな画像もリアルに描きだすことができます。



これら総体を「プレアデスシステム」と呼んでおり、すべてが統合された形でプラネタリウム館に納入されるのは、**全国初**となります。
最新の天文学が描きだしてくれる宇宙観は、わたしたちはどこから来て、どこへ向かうのか？　という根源的な問いに対するこたえを内包しています。この地球上に生きている奇跡を、広大な宇宙空間を体感することで感じてもらえれば、という願いのもとに、山梨県立科学館のプラネタリウムは、独自の解説やオリジナルのプラネタリウム番組制作を続けていきます。
プラネタリウムについての問い合わせ：　　山梨県立科学館　天文担当　055－254-8159